

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—185952

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>

A 47 C 7/74

7/18

27/15

識別記号

庁内整理番号

7309—3B

7309—3B

B 6501—3B

⑬ 公開 昭和58年(1983)12月10日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑭ 車両用座席体

⑯ 実 願 昭57—81630

⑰ 出 願 昭57(1982)6月3日

⑱ 考 案 者 高木貞彰

岡崎市花崗町39番地

⑲ 考 案 者 由良重次

愛知県額田郡幸田町大字芦屋字

大西33番地

⑳ 考 案 者 福田正紀

岡崎市大西町神殿26—3

㉑ 考 案 者 及川幸雄

岡崎市大幡町字堀田19番地

㉒ 出 願 人 株式会社高木化学研究所

岡崎市大幡町字堀田21番地1

㉓ 代 理 人 弁理士 八田幹雄

## ㉔ 実用新案登録請求の範囲

- 1 皿状体とその内部に設けられた複数の突起と該突起に当接して該皿状体および該突起上に設けられかつ多数の通気孔を穿設した蓋体または網状体とにより形成されかつ少なくとも1個の空気導入管を備えた空気分散室と、該空気分散室上に前記通気孔に合致させて穿設した通気孔を有するゴムまたは合成樹脂の発泡体を載置してなるクッション材層と、該クッション材層を覆う通気性表皮体と、前記空気分散室に連通する少なくとも1個の空気導入管とよりなる車両用座席体。
- 2 空気分散室は熱可塑性樹脂により一体的に形成されてなる実用新案登録請求の範囲第1項に

記載の車両用座席体。

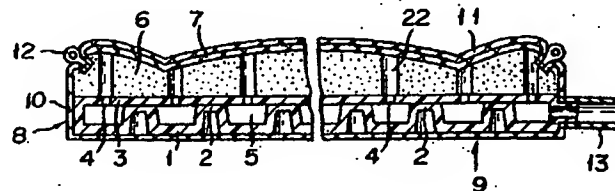
- 3 クッション材層はポリウレタンフォームである実用新案登録請求の範囲第1項または第2項に記載の車両用座席体。

## 図面の簡単な説明

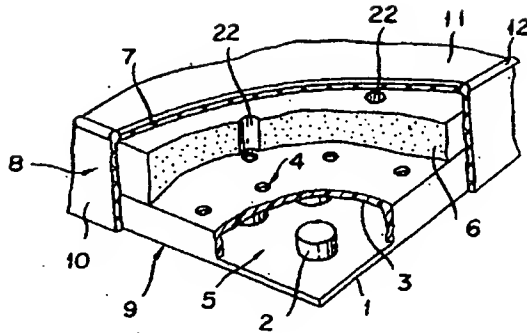
第1図は本考案による座席体の一実施例を示す断面図、第2図は本考案による座席体の一部破断拡大斜視図、第3図は空気分散室の一体成形法を示す断面図、第4図は本考案による座席体の使用状態の一例を示す斜視図であり、また第5～6図は他の実施例を示す断面図である。

1…皿状体、2…突起、3…蓋体、4…通気孔、5…空気分散室、6…クッション材層、7…ワディング、11…通気性表皮体、13…空気導入管。

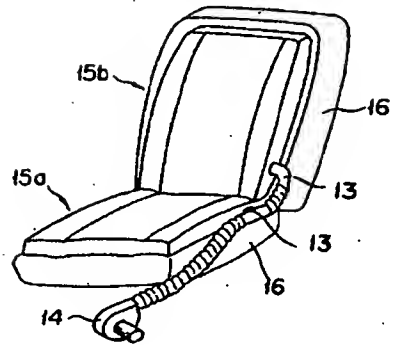
第1図



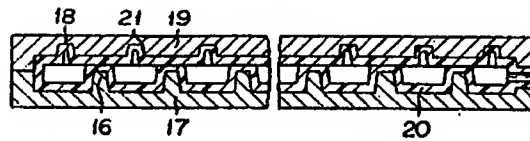
第2図



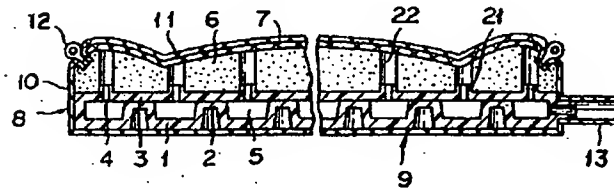
第4図



第3図



第5図



第6図

